

「第11次刈谷市交通安全計画」
パブリックコメントの結果について

1 実施状況

(1) 募集期間

令和3年11月15日（月）～令和3年12月14日（火）[30日間]

(2) 意見の件数

9件（5人）

(3) 提出方法の内訳

持参：4件、メール：5件

2 内容別意見の件数

第1章 基本構想	1件
第2章 基本施策	
第1節 道路交通環境の整備	4件
第2節 交通安全思想の普及徹底	0件
第3節 道路交通秩序の維持	0件
第4節 救助・救急活動の充実	0件
第5節 被害者支援の充実と推進	0件
その他	4件

3 意見の概要と市の考え方

□第1章 基本構想

No.	頁	意見の概要	市の考え方
1	7	自転車事故死傷者数を123人から100人へ減少させるという目標は他の項目に比べて低減率が低いのではと思いますが、過去の推移や現状からみて妥当か。	自転車事故死傷者数の目標については、近年の事故状況と令和2年の死傷者数の減少を新型コロナウイルス感染症の影響による限定的なものとして考慮したことに加え、今後の自転車利用が増加することを見込み設定しております。

□第2章 基本施策

第1節 道路交通環境の整備

No.	頁	意見の概要	市の考え方
2	8	「自転車の通行位置を示した道路」には、車道上だけでなく歩道上に通行位置を指定するような標示を施すものを含むのか。	「自転車は車両であり、車道を通行することが原則である」という考えに基づき、車道通行を基本とした整備を目指します。 ただし、自転車が車道を通行することが危険な場合は、歩道上に通行位置を明示することも検討してまいります。
3	8	高齢者、障害者等の安全に資する歩行空間等の整備について、東刈谷駅南口、野田新町駅南口に音響信号を早急につけてほしい。	第2章第1節1「(3) 高齢者、障害者等の安全に資する歩行空間等の整備」に記載のとおり、関係機関等と協議の上、必要な対策を検討してまいります。
4	9	第2章第1節2(1)について、斜め横断歩道は運転手の視界がひろがり、歩行者の認識ができ交通事故が減ったと報道されていた。刈谷市でも試験的に設置してはどうか。	ご提案いただいた内容につきましては、関係機関と協議の上、具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。
5	9	第2章第1節2(3)において、「歩行者」と「自動車等」という分け方をしているが、自転車はどちらに含むのか。	自転車は、軽車両に位置付けられており、「自動車等」に含みます。

□その他

No.	頁	意見の概要	市の考え方
6	—	刈谷市駅周辺が通勤時の抜け道となり、多くの車がスピード超過している。危険な道と理解してもらい工夫が必要で、ゾーン30や物理的デバイス等の設置を検討してほしい。	第2章第1節1「(1) 生活道路における交通安全対策の推進」及び「(2) 通学路等における交通安全の確保」に記載のとおり、関係機関等と協議の上、必要な対策を検討してまいります。 また、スピード超過について、警察による取締りを要請してまいります。

7	—	<p>市や警察が、道路標示の剥がれや危険箇所の迅速な把握ができるように、スマートフォン等により写真を投稿できるような仕組みを作ってほしい。</p>	<p>道路の陥没や道路標示の再塗装など補修が必要な場合は、刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」において、写真を投稿する機能がありますので、ご利用ください。</p> <p>また、危険箇所については、地区や「刈谷市通学路交通安全プログラム」に基づき小・中学校や幼稚園・保育園から情報を集めております。今後も、関係機関等と連携を図りながら、引き続き危険箇所の把握に努めてまいります。</p>
8	—	<p>交通安全対策に迅速な対応ができるように、市と警察が隔週の定例会にて情報を共有すること。また、予算面においても、市と警察が一体として住民の安全確保優先で取り組む仕組みを作ること。</p>	<p>市と刈谷警察署では毎月定例会を実施しているほか、必要に応じて情報共有を行っており、予算が必要となる対策の実施を含め、引き続き連携して住民の安全確保に努めてまいります。</p>
9	—	<p>安全を確保するためにはお金が必要だが、予算の面がわからない。また、都市計画との整合は取れているのか。</p>	<p>本計画は、本市陸上交通の安全に関する施策の大綱を定めたものであるため、具体的な施策は本計画に基づき関係機関において相互に連携して進めてまいります。</p> <p>また、本計画の策定にあたり、都市計画部署とも連携、整合を図っております。</p>